参考資料４

2025 年度事業実績及び 2026 年度事業計画

〔保健予防課（母子保健担当)〕

1　2025 年度事業実績

（１） 子育てをする方への妊娠期から継続した支援（基本目標１-目標１-施策１）

① 産後ケア事業

産後の母親と赤ちゃんに対し、医療機関などの施設において、または助産師が訪問し、心身のケア、授乳指導、育児相談などのサービスを提供しました。

利用者数増加に対応できる体制を整えるため、実施施設を 17 か所から 19 か所に、訪問員を 18 名から 20 名に増やしました。

また、産後ケアを安全に利用していただくため、2024 年度に策定した「町田市安全管理マニュアル」を全施設に共有し、各施設のマニュアルとあわせて活用していただきました。

実施施設(訪問員)数及び利用申請数

実施施設	宿泊・日帰り型 19 施設 訪問型(訪問員)20 人
利用申請数	1,447 件

産後ケア事業実績

種類	利用時間	延べ利用日数
宿泊型	10 時～翌 12 時	1,571 日
日帰り型	10 時～17 時	780 日
訪問型	9 時～17 時のうち 90 分間	757 日

② プレママ・パパクラス

妊娠中の方とそのパートナーを対象に、妊娠・出産・産後についての講義や沐浴実習などの体験を通して、妊娠から出産、育児のイメージを作り、家族で協力して子育てできるよう、講座を開催しました。

	内容	妊婦	パートナー
Ａコース	妊娠中の過ごし方、歯の衛生、栄養と食生活など	245 人	117 人
Ｂコース	沐浴実習、新生児の保育、妊婦体験など	447 人	440 人

③ 出産・子育て応援事業

妊娠期から子育て期にある家庭に対し面接や訪問等による相談支援を実施します。また、心身や家庭の状況を確認し、必要なサービス等情報を提供しました。

しっかりサポート面接

時期	事業内容	面接を受けた人数
妊娠期	心身の状態や家庭の状況、子育て支援のニーズ等を把握し、利用可能な制度やサポートを案内する。	2,611 人

妊娠 8 か月アンケート

時期	事業内容	送付数	回答数
妊娠期	妊娠中の体調や暮らしの様子、出産・育児に対する不安や心配事を把握し、必要な支援へつなぐ。	2,254 件	1,519 件

こんにちは赤ちゃん訪問事業

時期	事業内容	訪問件数
出産期	新生児の発育、栄養、生活環境、疾病予防等の育児上必要な事項を確認し、必要な子育て支援の情報やサービスへつなぐ。	2,235 件

④ 父親向け事業

父親の産後うつや不安、それに伴う虐待を未然に防ぐため、相談窓口の連絡先や市ホームページの父親向け情報にアクセスできる二次元コードを記載した「父親向け相談カード」を作成しました。

形状	掲載内容	作成部数
名刺サイズ	・お父さん自身や家族の健康相談の相談先 ・子育ての悩みの相談先 ・父親向け育児情報ページへの二次元コード	5,000 部

また、父親向けの育児参加を促す取組を実施したところ、プレママ・パパクラスでは、男性の参加者数が増加しました。

	女性参加者数	男性参加者数	パートナーと一緒に参加した率
Aコース	245 人	117 人	47.8%
Bコース	447 人	440 人	98.4%

（２） 乳幼児の健康の保持及び増進（基本目標１-目標１-施策２）

① 乳幼児健康診査

年齢に応じた健康診査を実施し、乳幼児の健康状態、発育、発達面を適切に確認しました。

3～4か月児健康診査

健診内容	対象者数	受診者数	受診率
診察・身体計測・個別相談（栄養・保育・歯科）	2,233 人	2,245 人	100.6%

1歳6か月児健康診査

健診内容	対象者数	受診者数	受診率
診察(小児科・歯科)・身体測定・個別相談(栄養・保育・心理)	2,528 人	医科 2,317 人 歯科 2,387 人	医科　91.7% 歯科　94.4%

3歳児健康診査

健診内容	対象者数	受診者数	受診率
診察(小児科・歯科)・身体測定・視力・聴覚・尿検査・個別相談(栄養・保育・心理)	2,739 人	2,613 人	95.4%

② 乳幼児健康審査のデジタル化

2024 年度からこども家庭庁が実施する乳幼児健康診査のデジタル化実証事業に参加し、2025 年度も継続して参加しました。

内容としては、保護者の方はスマートフォン等からマイナンバーカードを利用して問診票を入力し、健診当日、医師等は入力された問診票を画面で確認しつつ健診を行い、結果を入力するというものです。また、保護者の方はマイナポータル上で健診結果を確認することができます。

このことにより、これまで健診で必要とされていた問診票や健診結果票などの紙を無くすことできるようになります。



（３） 歯と口の健康づくり（基本目標１-目標２-施策２）

① 歯科口腔保健情報の普及啓発

生涯にわたる歯と口腔の健康づくりを図るため、ライフステージごとの特性を踏まえた歯科口腔保健情報を発信しました。

就労世代は、歯周病の罹患率が増加する一方で、忙しく時間がない等の理由から定期的な歯科健診の受診率が低く、受診への動機づけとなる歯科保健の課題が課題となっています。

そのため、就労世代を対象とした歯科保健普及啓発を実施しました。

厚生労働省のモデル事業への参加

事業内容	実績
2歳児歯科健診に来所された保護者を対象に、歯周病簡易検査を実施し、結果に応じた受診勧奨を実施。	検査に参加した198人のうち、51人が歯科受診行動に繋がった。

商工会議所との連携

事業内容	配布枚数
町田商工会議所で行われる定期健康診断の会場に、定期歯科健診受診勧奨チラシを設置	50枚

保護者向けの勧奨

事業内容	配布枚数
プレママ・パパクラスのときに、保護者向けに歯周病予防や定期歯科健診受診勧奨チラシを配付	209枚

その他の世代に対しても、町田GIONスタジアムでの電光掲示や、ペデストリアンデッキでのポスター掲示、「二十祭まちだ」や夏休みの子ども向けイベント「チャレンジマッスル」へのブース参加など、歯と口の健康づくりに関する情報提供を行いました。

② 幼児歯科健康診査

年齢に応じた歯科健康診査を行い、むし歯予防を実施しました。

1歳6か月児歯科健診

健診内容	対象者数	受診者数	受診率
歯科健診・歯科保健指導・予防処置(高濃度フッ化物塗布)※希望者のみ	2,528人	2,387人	94.4%

2歳児歯科健診

健診内容	対象者数	受診者数	受診率
歯科健診・歯科保健指導・予防処置(高濃度フッ化物塗布)※希望者のみ	2,656人	1,742人	65.6%

3歳児歯科健診

健診内容	対象者数	受診者数	受診率
歯科健診・歯科保健指導	2,739人	2,607人	95.2%

③ 歯科口腔健康診査・高齢者歯科口腔機能健康診査

歯科疾患等の早期発見及び早期治療等を目的に健康診査を実施しました。

歯科口腔健康診査

	健診内容	受診者数
歯科口腔健康診査	問診・むし歯・歯周疾患等の審査など	1,169人
高齢者歯科口腔機能健康診査	問診・むし歯・歯周疾患等の審査・嚥下機能評価など	351人

＜事業総括（2026年度に向けての課題や目標など）＞

【妊娠・出産・子育てを支えるまち】(基本目標１-目標１-施策１．２)

・産後ケア事業については、施設数と訪問員数を増やすとともに、契約事業者と打ち合わせを定期的に行ない、既存施設等での受け入れ可能枠を拡大することで、利便性の向上を図りました。今後も利用者数の増加が見込まれることから、利用者増加に対応できる体制づくりを検討していく必要があります。

・プレママ・パパクラスについては、多くの初産婦に参加していただいており、パートナーの方と一緒に参加される方も多くなっています。より多くの方が受講できるよう、受入れ人数の拡大や民間のノウハウの導入を目的に、外部委託などを検討していきます。

・出産・子育て応援事業については、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施することで、妊婦面接の面接率や赤ちゃん訪問の訪問率は高い水準を維持することができました。今後も引き続き、妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない支援を推進していく必要があります。

・父親向け事業については、2025年度に作成した父親向け相談カードを配布していく必要があります。

【からだの健康を支えるまち】(基本目標１-目標２-施策２)

・歯科口腔保健情報の普及啓発については、2025年度は就労世代向け事業に取り組みました。今後もライフステージにあわせた歯科保健情報の提供を推進していく必要があります。

2　2026年度事業計画及び進捗状況

（１）子育てをする方への妊娠期から継続した支援（基本目標１-目標１-施策１）

国や都の制度を活用しながら、引き続き、妊娠期からの切れ目ない支援を推進していきます。

○産後ケア事業

…ニーズの高い宿泊・日帰り型の施設整備を進め、より多くの必要な方にサービスを提供できる体制を整えます。また、状況を把握するため、契約事業者と打ち合わせを実施し意見交換を行います。

○プレママ・パパクラス

…Ｂコースについて、2026年10月から外部委託できるよう、仕様書の作成や入札に向けた調整など準備を進めます。

○出産・子育て応援事業

…しっかりサポート面接・赤ちゃん訪問による相談支援を中心に、引き続き切れ目ない支援を実施します。また、経済的支援に関する情報についても対象の方が漏れなく利用していただけるよう周知を行います。

○父親向け事業

…2025年度に作成した「父親向け相談カード」について、必要としている人に届けられるよう効果的に配布します。

（２）乳幼児の健康の保持及び増進（基本目標1-目標1-施策2）

引き続き、年齢に応じた健康診査（集団）を実施し、乳幼児の健康状態、発育、発達面を確認していきます。

○乳幼児健康診査

…引き続き、乳幼児の健康状態、発育、発達面を確認していきます。

＜7月末時点の状況＞

受診率

3～4か月児健診	対象者745人	受診者729人	受診率 97.9%
1歳6か月児健診	対象者921人	受診者845人	受診率 91.7%
3歳児健診	対象者806人	受診者793人	受診率 98.4%

○乳幼児健康診査のデジタル化

…2026年度も、こども家庭庁が実施する乳幼児健康診査のデジタル化実証事業に参加し、3～4か月児健康診査においてデジタル健康診査を実施します。

（３） 歯と口の健康づくり（基本目標１-目標２-施策２）

生涯にわたる歯と口腔の健康づくりを図るため、ライフステージごとの特性を踏まえた歯科口腔保健情報を発信していきます。

歯科口腔保健情報の普及啓発については、以下の内容を実施します。

・ファミリーフェスへの出展（4 月）
・広報まちだ 1、2 面を活用した情報発信（6 月）
・イベントスタジオへの出展（6 月）
・ペデストリアンデッキへのポスター掲示（6 月）
・町田 GION スタジアムでの電光掲示（5～6 月、10～11 月）
・からだ測定会への出展（7 月）
・夏休みこどもフェアー「チャレンジマッスル」への出展（7 月）
・町内会・自治会回覧板にチラシを添付（10 月）
・歯と口の健康講座の実施（11 月）
・アプリ「わくわくワクチンプラス」への情報掲載（11 月）
・二十祭まちだへの出展（1 月）

(通年で行う事業)
・SNS「まちだの食のわ」への投稿
・高齢者支援センターと協働し「まちだ　お口を元気にするトレーニング　口トレ」を用いた普及啓発

また、更に効果的かつ効率的に普及啓発ができるよう、7 月に町田ちょこっとアンケートを実施します。